



# Close up だて

## — 感じるままに、ふとした風景を切り取る —

こぐまなつき  
**小熊奈都季さん**  
 (末永町)



広報だて平成23年9月号の表紙を飾った1枚



武者フォト最優秀賞作品  
 騎馬武者の荒々しさが決め手!

**今** 年も華麗に伊達の夏を彩った一大イベント「第39回伊達武者まつり」。そのイベントの一つとして今年初めて、お祭りの楽しさやふとした瞬間の写真を募集する「武者フォト」が行われました。

応募者28名、合計76作品の中から栄えある最優秀賞を受賞したのが小熊さんです。

「臨場感あふれる写真が撮りたい」とシャッターを押し続けたそうです。写真の構図や臨場感を大事にしながら、祭り開催期間の厳しい暑さの中、2日間で200枚以上も撮影しました。

写真撮影を熱心に続けるきっかけは、2年前に尊敬する先輩に勧められたこと。その後わずか数カ月で、広報だて平成23年9月号の表紙にも採用されました。

広報紙をご覧になった方にはきつと躍動感あふれる山車の様子が目にも鮮やかに映ったことでしょう。

今回、再びの受賞にご本人も驚いていました。

小熊さんは忙しい仕事の合間をぬって、市内外のイベントやドライブに行った先などで心惹かれたものを被写体を選び、カメラの設定・機能を試行錯誤しながら撮っているとのこと。

「今回の受賞の連絡を受けたときは恐縮しました。ビキナースラックです」とご謙遜の小熊さん。

「まだ初心者で知識も浅く構図の勉強も必要。将来的には一眼レフカメラでも撮影したいです。そして、これからもどんどん写真を楽しくしていきたいです」と熱く話してくれました。

### 表紙のはなし



前日までの雨がきれいにあがった9月17日、虹の橋保育園がぶどう狩りに行きました。

とは言っても、まだ背が低いのでぶどう棚には手がとどきません。とるのは大人、食べるのは子ども。甘いぶどうを大喜びで頬張ります。黒・緑・茶…さまざまな種類のぶどうをお腹いっぱい食べて、大満足の園児たちでした。

### 楽画記

- 「急転直下」事態が急転して、速やかに解決や結末に向かうこと。伊達中サッカー部のベスト4が決まり、その日急きょ現地へ。「熱さ」の中で戦う子どもたちの写真を撮って帰道し、(し)さんが準備を進めていた表紙の差替えに写真を提供。かつてない強行軍でぐったりでしたが、充実感ある日々でした。(と)
- 「広報だて」9月号の伊達中サッカー部いかがでしたか? また、決勝戦の様子をFMびゅーでお伝えした(と)さんの「美しい」声いかがでしたか? 「広報だて」は毎回事前に決めた構成を淡々と紙面に仕上げるのがほとんど…でも印刷直前的大幅差し替え、既に2回! 今年は何かが違う! きつと嵐を呼ぶ(と)さんの存在(し)
- 私たち広報誌関係は全員が40歳の40's。臨機応変に動かねばならない係ながら、その体力はもはや危うし…と思いきや、(と)さんがやってくれました。着任早々市内を飛び回っていましたが、先月号の取材でとうとう道外へ。30℃を越す暑さと猛烈な湿度の中で40'sの底力を見せてくれました。お疲れさまです!(や)